

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

【協議事項】

1 警察職員の特別派遣について

(警備部)

警察本部から「警察職員の特別派遣について、御審議をお願いする。」旨の報告があった。

公安委員から「派遣の調整は事前に行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「警察庁を通じて調整が行われる。」旨の説明後、本件は了承された。

【報告事項】

1 平成29年福岡県殉職警察職員慰霊祭の実施について

(警務部)

警察本部から「11月17日、福岡県警察学校において「平成29年福岡県殉職警察職員慰霊祭」を実施する。同慰霊祭には、遺族会会長及び同会員のほか、知事、県議会議長、公安委員長等の出席を予定している。」旨の報告があった。

2 福岡市中央区における多額強盗致傷事件被疑者の逮捕について

(刑事部)

警察本部から「中央警察署及び捜査第一課は、平成29年4月20日、福岡市中央区内の駐車場において、現金3億8,400万円在中のスーツケースを強奪し、傷害を負わせた多額強盗致傷事件について、10月31日、住居不詳の男性ほか6人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「数多くの防犯カメラ映像を確認する場合は、それぞれの設置者ごとに依頼しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「それぞれにご協力を頂いている。」旨の説明があった。

3 銃砲刀剣類所持等取締法違反（拳銃所持）事件の検挙について

(暴力団対策部)

警察本部から「大牟田警察署は、平成29年10月19日、福岡県大牟田市内の指定暴力団組事務所内において拳銃1丁を所持した銃砲刀剣類所持等取締法違反事件について、同日、住居不詳の男性を検挙した。」旨の報告があった。

公安委員から「拳銃は、組事務所内にあったものなのか。」旨の発言があり、警察本部から「本件被疑者の男性が持ち込んだものである。入手経路等については捜査中である。」旨の説明があった。

4 五代目工藤會傘下組織幹部による暴力団対策法違反等事件の検挙について

(暴力団対策部)

警察本部から「折尾警察署及び北九州地区暴力団犯罪捜査課は、飲食店経営者から数の子等の購入代金名下に金銭を脅し取ろうと企て、工藤會の威力を示して、現金3万円を脅し取った事件について、10月22日、五代目工藤會傘下組織幹部を暴力団対策法違反及び恐喝で逮捕した。」「先般、五代目工藤會総裁による所得税法違反の初公判があり、県警察では所要の体制で警戒に当たった。」旨の報告があった。

5 覚醒剤営利目的所持等事件の検挙について

(暴力団対策部)

警察本部から「小倉北警察署、飯塚警察署及び薬物銃器対策課は、平成29年10月2日、福岡空港警察署内において、覚醒剤約400グラムを所持していた事件について、10月27日までに、東京都新宿区内居住の暴力団組員ほか1人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「福岡県が薬物事犯のターゲットになり、薬物常習者が多くなっているような傾向はあるのか。」「覚醒剤は外国で製造されて入ってきているのか。」旨の発言があり、警察本部から「他の大規模県と同様の傾向にあり、特に本県が多くなっている状況ではないが、今後も情報収集に努めていく。覚醒剤は海外ルートから入ってくるものがほとんどである。」旨の説明があった。

公安委員から「東京の暴力団員はどのような形で福岡の暴力団とつながっているのか。」旨の発言があり、警察本部から「薬物事犯に関しては、暴力団組織の垣根を越えたネットワークがある。薬物は扱わないと表明している組織もあるが、当の組員は個人的に他の暴力団組員とつながって売買している状況がある。」旨の説明があった。

警察本部から「平成28年中の全国の覚醒剤押収量については、1,495キログラム余となっており、一昨年より約1,000キログラム増加し、過去最多となった平成11年に次いで2番目の押収量となっている。」旨の説明があった。

公安委員から「暴力団の最大の資金源となっているのか。」旨の発言があり、暴力団対策部長から「大きな資金源の一つとなっているのは間違いないと思料されるが、近年では、ニセ電話詐欺への関与など、資金獲得のために、あらゆる違法行為を行っている。」旨の説明があった。

6 第33回福岡県交通安全県民大会の開催について

(交通部)

警察本部から「平成29年11月7日、福岡国際会議場において第33回福岡県交通安全県民大会を開催する。参加者は、交通安全功労者等で表彰を受ける方など約1,000人を見込んでいる。」旨の報告があった。

7 天皇皇后両陛下の行幸啓に伴う警衛警備の実施結果について

(警備部)

警察本部から「天皇皇后両陛下は、平成29年10月27日から30日までの3泊4日の行幸啓を終えられた。台風22号の接近により、一部行事は中止となったが、歓送迎者数は4日間合計で約56,000人に上り、県警察では所要の体制で警衛警備を実施した。」旨の報告があった。

公安委員から「周大な準備が行われていたが、想定外の事はあったのか。」旨の発言があり、警察本部から「荒天時の日程に変更となったほか、歓送迎者が多かったことなどが影響し、両陛下の御日程に一部遅れが生じたが、無事に終了している。」旨の説明があった。

8 中核派活動家らによる詐欺被疑事件の検挙について

(警備部)

警察本部から「久留米警察署、博多警察署及び公安第三課は、熊本県警察と共同で、組織車両として使用する意図を秘して虚偽の契約申請を行い、車両のリース契約を締結した詐欺被疑事件について、10月25日、久留米市居住の中核派活動家の男性ら3人を逮捕した。」旨の報告があった。